

## ◇ 大法人の申告所得・消費者金融が依然好調

**Q** : 平成12年度の大法人の申告所得状況が発表されたようですが、今年の特徴を教えてください。

**A** : 前年に引き続き消費者金融が依然として好調で、また、IT化の流れに乗り電気機械工業が躍進しています。

### 【解説】

国税庁は先月、平成12年度決算大法人の申告所得上位50社を発表しました。対象となるのは、資本金30億円以上の1年決算の法人で、今年度は3,388社が対象となっています。

発表によると、第1位は昨年度と同様トヨタ自動車で、申告所得額は679,153百万円と昨年度より40%もアップ、第2位の東京電力（昨年度4位）の申告所得額370,340百万円を大きく上回る結果となっています。

上位50社の申告所得額の合計は7兆円の大台に乗り、3年連続の増加となっています。

なお、今年度も依然として消費者金融が好調で、武富士（7位）、アコム（15位）、アイフル（41位）、プロミス（43位）と、上位50社の中に4社もランクインしています。

また、IT関連会社も好調で、日本IBM（16位）、富士通（28位）、古河電気工業（34位）、村田製作所（44位）、ファナック（49位）、ソニー（50位）などが躍進しています。

その他、今年度は、資産運用収益が大きく減少したり、事業譲渡益や円安による為替差益で利益が出たりといった、本業以外での収益で、申告所得に増減が出た会社も多くありました。

